



我が家の防災・心臓発作から命をまもる

◆心臓発作から命をまもる◆

統計によると、心臓発作等で倒れる人は年間8万人(1日当たり200人)、この内自宅で倒れる人が60%と言われています。倒れた人を発見したときには、一刻を争う場合があります(救急車の到着までには平均で8分かかると言われています)。こんなとき、貴方の「咄嗟の対応」が家族や隣人の命をまもることに繋がります。

◆心肺蘇生の手順

1. 肩を軽くたたきながら声をかけて、意識があるかを確認する

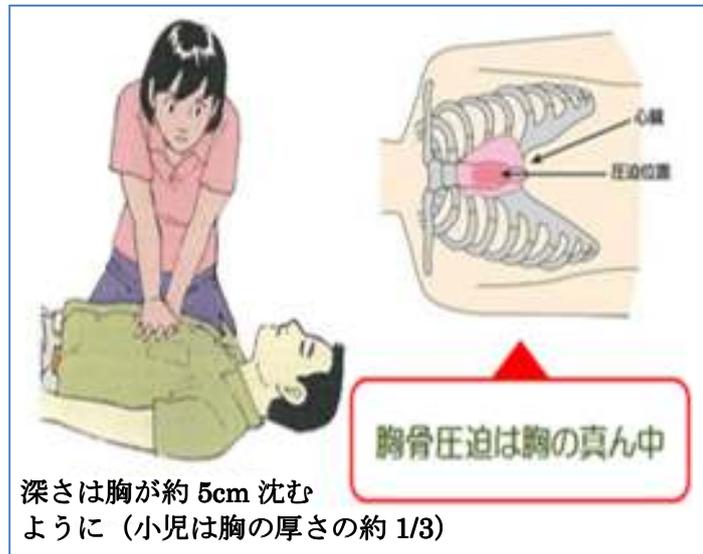


2. 反応がない、又は判断に迷う場合は、大声で助けを求め、119番通報とAED搬送を依頼する



市民センター、富士小、富士中、池尻さつき会館、コミセン、コープ、スギ薬局、セフィール三田、三田リハビリテーション病院、寿の湯

3. 呼吸を確認する



4. 普段通りの呼吸がない、又は判断に迷う場合は、すぐに胸骨圧迫を1秒間に2回のペースで行う。(100~120回/分)
(気道確保と人工呼吸は、可能な場合は実施する)

交替要員がいる場合は、圧迫が途切れなないようにスムーズに交替して継続する。

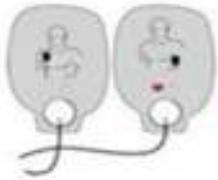
5. AED が到着したら

まず、電源を
入れる。



ふたを開けると
自動的に電源が
入る機種もある

6. 電極パッドを胸に 貼る



電極パッドを貼る位置
は電極パッドに書かれ
た絵のとおり、皮膚
にしっかりと貼ります。
体が汗などで濡れてい
たら、タオル等で拭き
取ってください。



※おおよそ6歳ぐらまでは、小
児用電極パッドを貼ります。小児
用の電極パッドがなければ、成人
用の電極パッドを代用します。

注意：貼り薬がないか？
医療器具が植込まれていないか？

8. 電気ショックが必要な場合、ショック ボタンを押す

7. 電気ショックの必要性は AED が判断する

離れて下さい。



心電図解析中は、
傷病者に触れてはいけません。

誰も傷病者
に触れてい
ないことを
確認したら、
点滅してい
るショック
ボタンを押
します。



ショックボタン

以後は、AED
の音声メッセ
ージに従います。

心肺蘇生とAEDの手順は、救急隊に引き継ぐ
か、何らかの応答や目的のあるしぐさ(例えば、
嫌がるなどの体動)が出現したり、普段通りの
呼吸が出現するまで続けます。

9. ショックが終わったら、AED の指示に従い胸骨圧迫を再開する

防災便りは、富士が丘ポータルサイト (☞ 「富士が丘」で検索) にも掲載しています。

<http://sanda-fujigaoka.com/2016/12/03/5802#tayori>

◆つぶやき◆

家族や知人が突然気を失って倒れた時、胸骨圧迫を覚えておくことで救って上げられるかも知れません。難しいことではないので、是非とも覚えておきましょう。(m.y)

